新日軽

施工説明書番号 ME-2206

シテラ機能ポールカスタムヨコ型
電動アシスト自転車向け CHARRY 充電ボックス 施工説明書

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。 商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は、必ず電気工事店へ依頼してください。
●コンセント・タイムスイッチの故障の際には、お近くの電気工事店・電気店へご相談ください。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

●本商品は、シテラ機能ポールカスタム ヨコ型専用品です。指定以外のポールに取付けないでください。
●ガス給湯器などの熱や排気ガスが商品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。
●異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響を受けるような場所に設置しないでください。火災・感電・落下・サビの原因になります。
●施工場所に正しく納まるか確認してください。（寸法・配線・配管等）特に充電ボックスはポールから突出しますので、設置上危険のない位置へ設置してください。

◎施工時の注意事項

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
●基礎施工は基準通りに行ってください。また、現場の状況（軟弱地盤など）に応じて基礎の大きさを考慮してください。
●地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
●寒冷地ではポールを立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてからポールを立てると、ポール内部に水が入り凍結破損の原因になります。
●電設資材の配線工事は、必ず電気工事店様（有資格者）に依頼しください。
●ポール内部・家側からの配管は、PF 管呼び 16 と 22 を使用してください。
●電装商品の配線はあらかじめ 2m 位立ち上げておいてください。
● CD 管・配線などの電設資材は、現場手配品となります。
●防水コンセント・タイムスイッチは別売の電設資材セットを使用してください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。
●φ 24 のホールソーが必要になります。
●当社指定以外の納まりで施工しないでください。

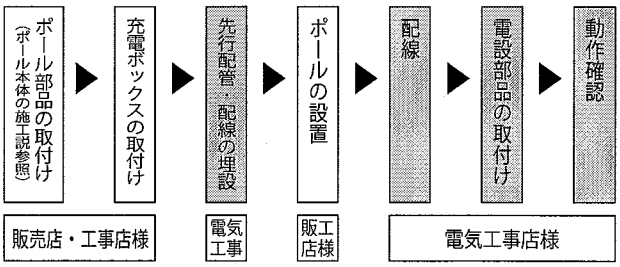
◎使用上の注意事項

●充電をする際は、充電器・バッテリーの取扱説明書に記載されている使用環境温度の範囲でご使用ください。
●本商品は、防雨構造になっておりますが、充電器は濡らさないように十分にご注意ください。
●本商品の底面の通気孔を塞がないでください。
●本商品を改造したり、当社指定以外の方法で使用しないでください。

◎免責事項

●充電器・バッテリーは、盗難紛失を含め当社保証範囲外となります。
●その他の当社免責事項に関しては、総合カタログをご参照ください。

施工の流れ



この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

●本体を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
●充電ボックスの上には乗らないでください。
●充電ボックスの開閉時に手や指をはさまないよう注意してください。
●年に一回、ネジやボルトの緩みがないか、確認してください。

「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」の施工説明書 [ME-2123] を合わせて参照してください。

⚠注意

●充電ボックスの取付けは、機能ポール本体の埋め込み前に行ってください。
※埋め込み後は、充電ボックスを取付けられなくなります。

●結線や電設資材の取付けなどの電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

もくじ

梱包明細 2
納まり図 2
使用可能な充電器について 3
電設資材について 3
1．充電ボックスの取付け 4
1－1施工手順の確認 4
1－2ポールの切り欠き加工 5
1－3デザインパネルの取付け 5
1－4屋根の取付け 8
1－5充電ボックスの取付け 8
1－6配線孔の加工 10
1－7孔フサギビスの取付け（※電設資材を取付けない場合） 10
1－8先行配管・配線の埋設（電気工事） 11
1－9ポールの設置 12
1－10充電ボックスの配線（電気工事） 12
2．電設資材の取付け（電気工事） 13
3．施工完了後の動作確認 14
3－1動作確認 14
3－2正しく動作しない場合 14
4．ダイヤル錠の使いかた 15
施工工事店様、販売店様へのお願い 16

梱包明細

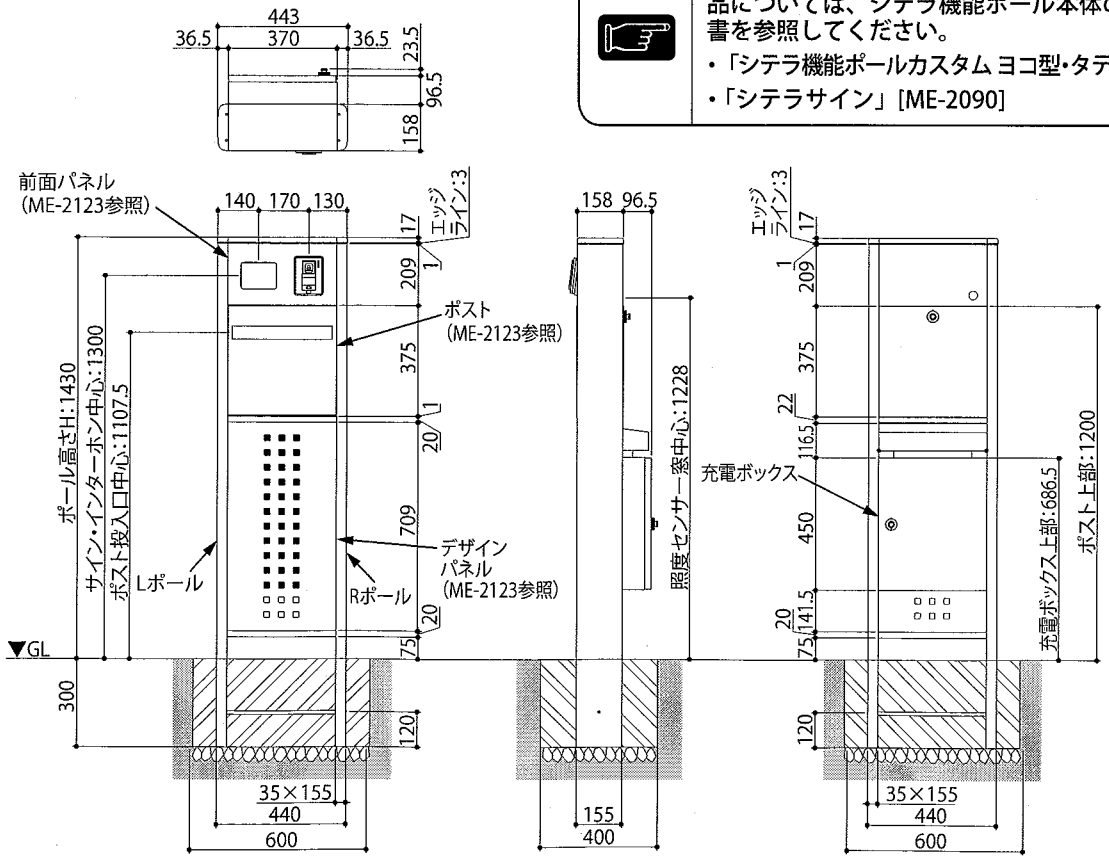
●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称	梱包内容　表内の（ ）は個数を表しています。
電動アシスト自転車用 充電ボックス	充電ボックス（1）・屋根（1）・固定ブラケット（4）・鍵調整部品（1）・シール（1） パイロットコード（1）・ブチルテープ（8）・施工説明書 [ME-2206]（1） ビスセット [φ 4 × 16 セルフドリリングビス（20）]

納まり図

●施工前に必ず確認してください。

インターホン、ポスト、サイン、照明などの機能品については、シテラ機能ポール本体の施工説明書を参照してください。
・「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」[ME-2123]
・「シテラサイン」[ME-2090]



ME2206-004

使用可能な充電器について

●必ず確認してください。

⚠注意

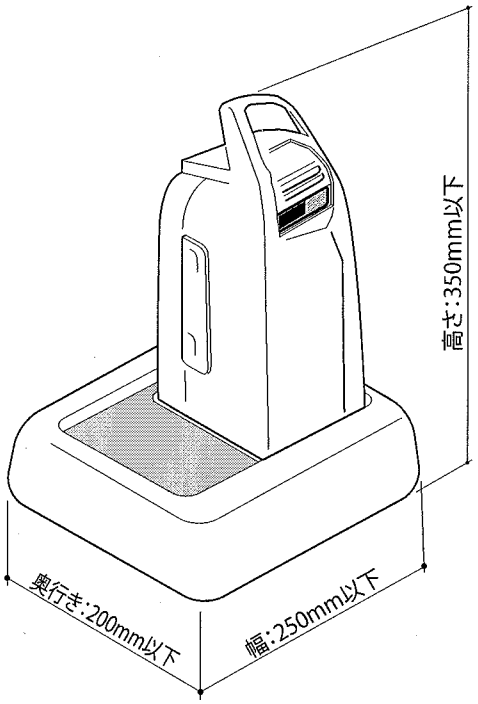
指定のサイズ以上の充電器を使用しないでください。

※指定のサイズ以上の充電器を使用すると、充電ボックスに納まらなかったり、商品の破損の原因になります。

◎本商品には、下記のサイズの充電器を納めることができます。

●使用可能な充電器のサイズ (mm)

幅	高さ	奥行き
250 以下	350 以下	200 以下



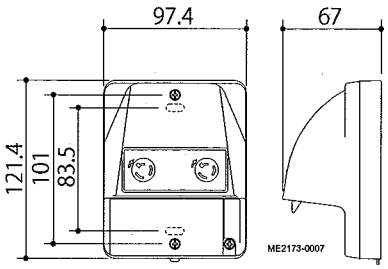
電設資材について

●防水コンセント・タイムスイッチなどの電設資材は、別売の [EANZ99] を手配してください。

別売の電設資材

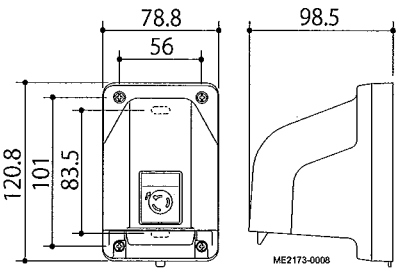
● 100V コンセント

パナソニック電工製：WK4106



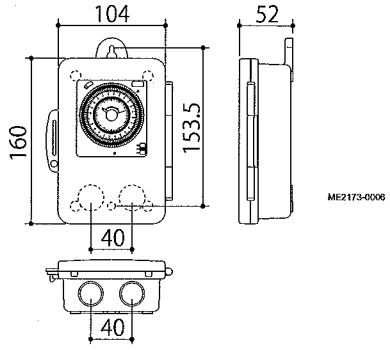
● 200V コンセント

パナソニック電工製：WK6520



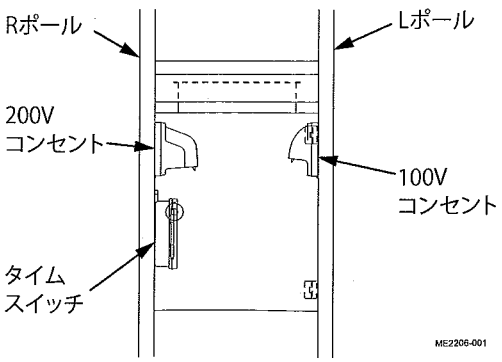
●タイムスイッチ

パナソニック電工製：TB31202



電設資材の取付位置

●内観図



組み合わせ可否表

	100V コンセントのみ	200V コンセントのみ	100V+200V コンセント
タイムスイッチあり	×	○	○
タイムスイッチなし	○	○	○

1 充電ボックスの取付け

1－1 施工手順の確認

◎充電ボックス（本商品）は、ポール本体と同時に施工します。はじめに、下記を参照して施工手順を確認してください。

⚠注意

取付手順を守って充電ボックスを取付けてください。
※取付手順どおりに施工しないと、機能品や充電ボックスが取付けられなくなる場合があります。

●「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123] を合わせて参照してください。
●オプション品を取付ける場合は、下記の「施工の流れ」を確認し、ポール本体の埋め込み前に取付けてください。
●充電ボックスと下記のオプション品の組み合わせはできません。
- デザインパネル（たて格子）
- デザインパネル（よこ格子）
- LED フットライト
- プランターハンガー
- 棚板

●施工の流れ

施工手順	参照説明書	章番号（□）・節番号〔 〕	
1）ポールの切り欠き加工	本説明書	[1-2]	
2）溝ふさぎカバーの取付け	ME-2123	1	
3）巾決め材の取付け		2	
4）前面パネルの取付け		3	
5）ポストの取付け		4	
6）ポールの取付け		5	
7）デザインパネルの取付け	本説明書	[1-3]	
8）屋根の取付け		[1-4]	
9）充電ボックスの取付け		[1-5]	
10）配線孔の加工		[1-6]	
11）孔フサギビスの取付け（※電設資材を取付けない場合）		[1-7]	
12）門柱の設置（オプション）	ME-2123	6	
13）先行配管・配線の埋設（電気工事）	本説明書	[1-8]	インターホン・照明の配線は [ME-2123] 7
14）ポールの設置		[1-9]	
15）インターホン子機の取付け	ME-2123	8	
16）照明の取付け		9	
17）背面パネルの取付け		10	
18）エッジライン・キャップの取付け		11	
19）充電ボックスの配線（電気工事）	本説明書	[1-10]	
20）電設資材の取付け（電気工事）		2	

1－2 ポールの切り欠き加工

①出荷時にポール内にセットされている CD 管を取外してください。

取外した CD 管は後工程で再び使用しますので、無くさないようにしてください。

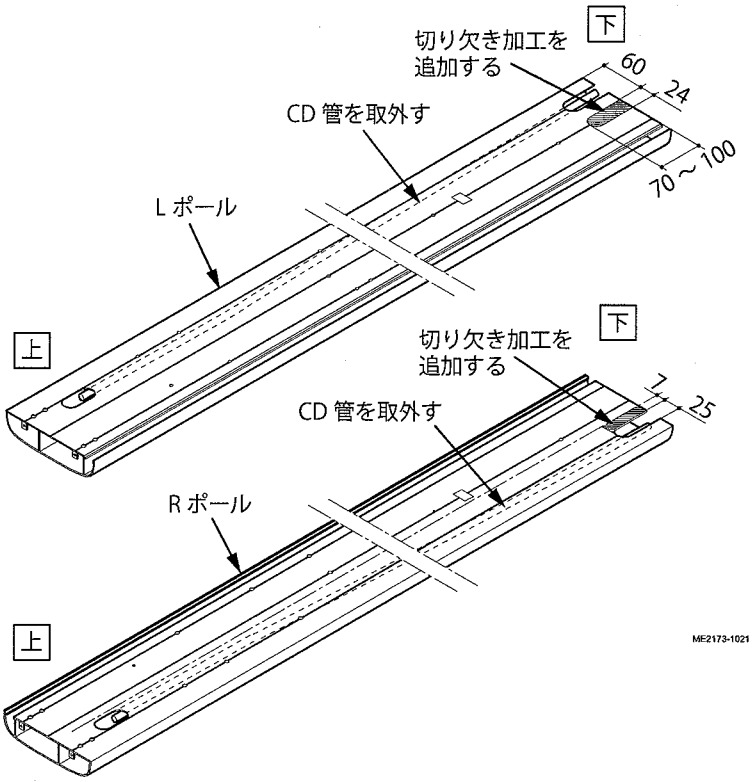
②２本のポール（L および R）の下側に、切り欠き加工を追加してください。

L と R で切り欠き位置・形状が異なりますので注意してください。

ポールの切り欠き加工後は、「シテラ機能ポール カスタム ヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123] にしたがって、下記を行ってください。

- 溝ふさぎカバーの取付け
- 巾決め材の取付け
- 前面パネルの取付け
- ポストの取付け
- ポールの取付け

※「1-1. 施工手順の確認」を参照



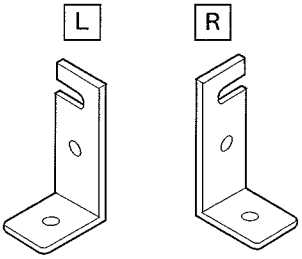
1－3 デザインパネルの取付け

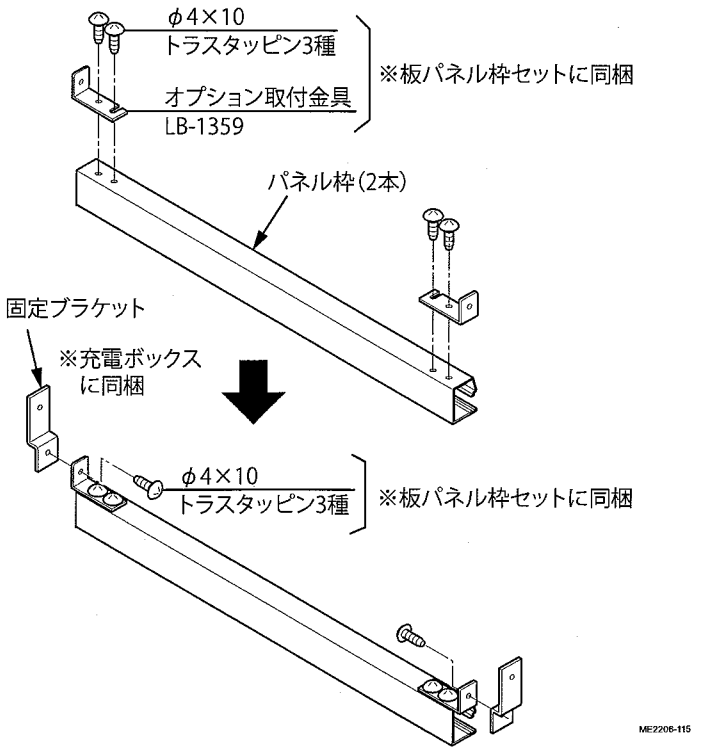
①オプション取付金具を２本のパネル枠に取付けてください。
②固定ブラケットをパネル枠に取付けてください。

オプション取付金具、パネル枠および取付ビスは、板パネル枠セットに同梱されています。

オプション取付金具には L・R があります。右図の向きで取付けてください。

●オプション取付金具の向き



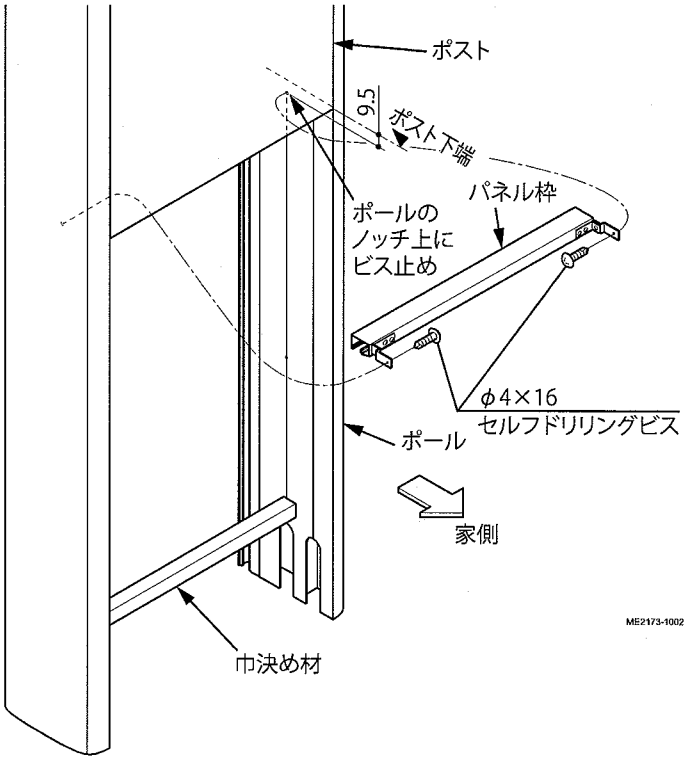


充電ボックスの取付け

③パネル枠のうち１本をポールのポスト下に取付けてください。

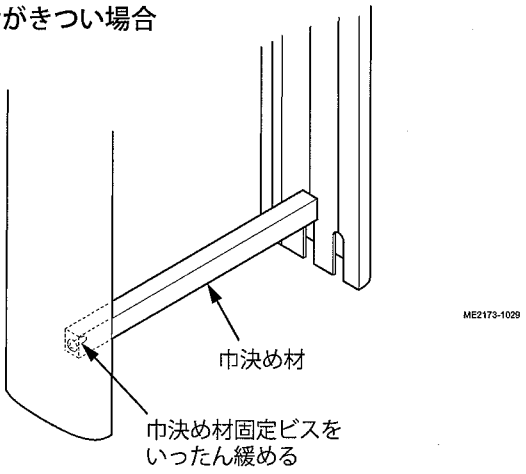
ポスト下端より 9.5mm の位置、ポールのノッチ上にセルフドリリングビスで取付けてください。

取付ビスは、充電ボックスに同梱されています。



取付けがきつい場合は、巾決め材固定ビスをいったん緩めてください。

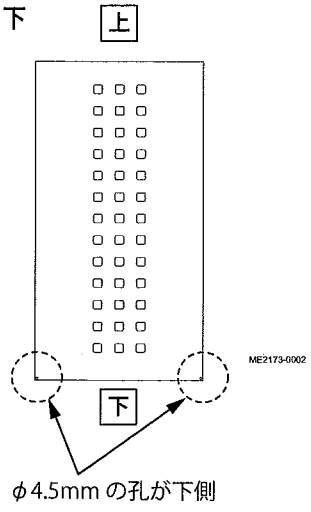
●取付けがきつい場合



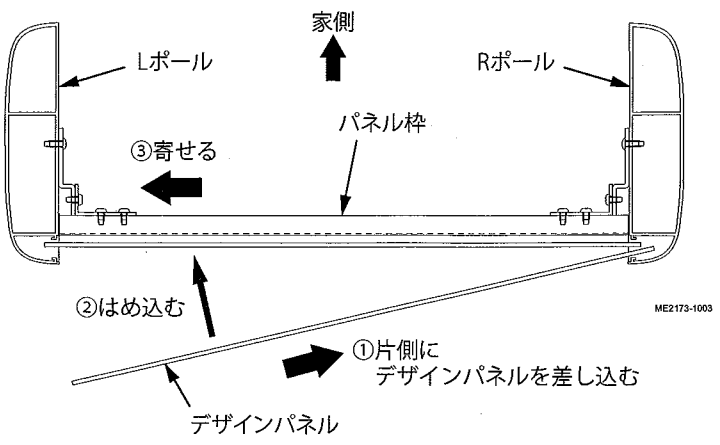
④片側のポールにデザインパネルを差し込んでから、ポールにはめ込んでください。

パネルには、上・下があります。角に孔があいている方が「下」です。

●パネルの上・下



●横断面図

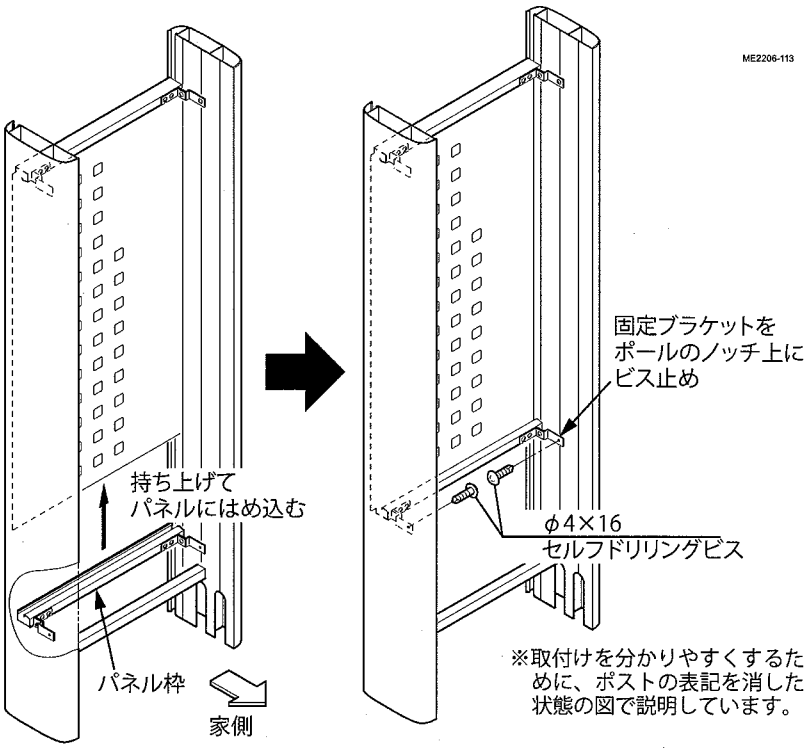


⑤残りの１本のパネル枠をポール内に差し込んでから持ち上げて、パネルにはめ込んでください。

⑥固定ブラケットをビスで固定してください。

ポールのノッチ上にセルフドリリングビスで取付けてください。

取付ビスは、充電ボックスに同梱されています。

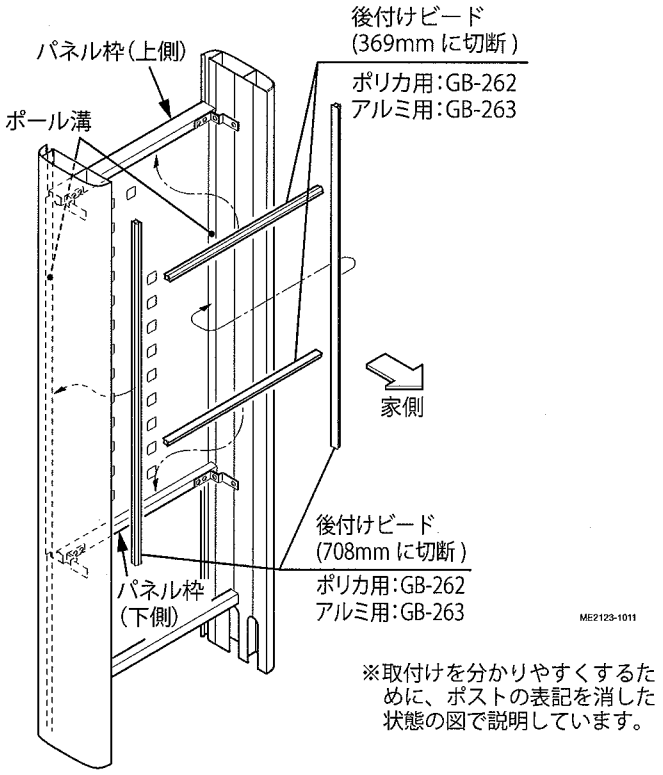


※取付けを分かりやすくするために、ポストの表記を消した状態の図で説明しています。

⑦後付けビードを現物合わせで切断してください。

後付けビード切断寸法
- **上下用 369mm**
- **左右用 708mm**

後付けビードは、板パネル枠セットに梱包されています。



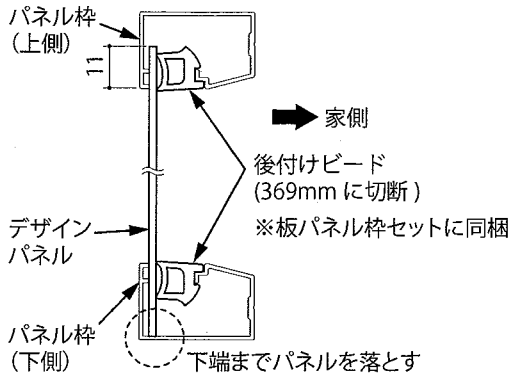
※取付けを分かりやすくするために、ポストの表記を消した状態の図で説明しています。

⑧ポールの家側より、上下のパネル枠および左右のポール溝に後付けビードを取付けてください。

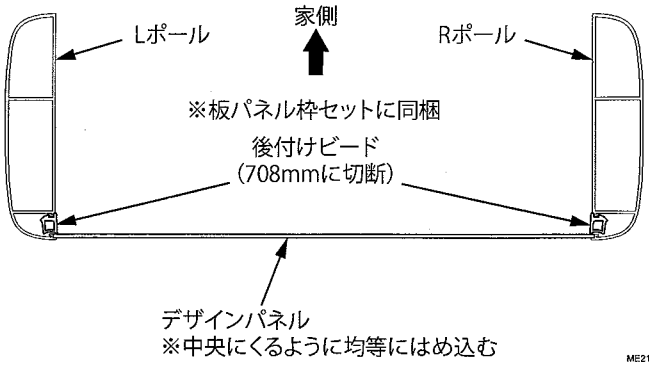
デザインパネルが中央にくるように、左右を均等に調整してください。

ビードの向きに注意してください。
※断面図のようにしてください。

●横断面図
（上下のパネル枠）



●縦断面図
（左右のポール溝）



1－4 屋根の取付け

①パネル枠の下端に屋根の上端を合わせてください。

パネル枠の下端に屋根の上端を隙間なくぴったりあててください。

②屋根の加工孔がポールのノッチに合うよう位置を調整してください。

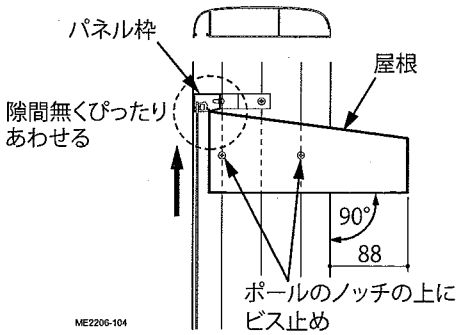
屋根の水平レベルを確実に合わせてください。

③屋根をビスで固定してください。

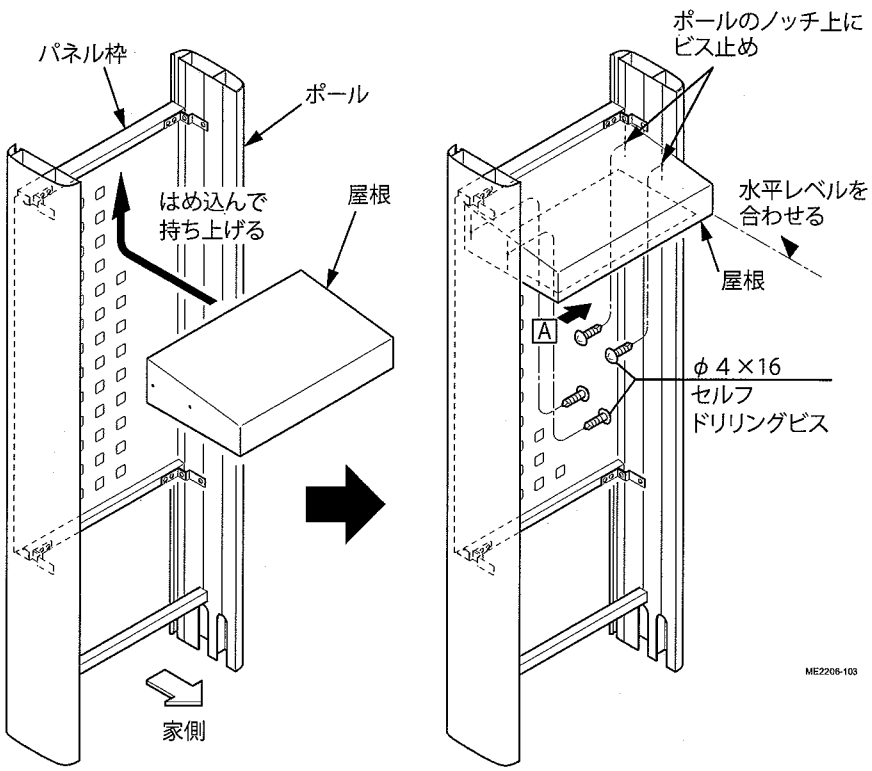
ポールのノッチ上にセルフドリリングビスで取付けてください。

取付ビスは、充電ボックスに同梱されています。

●Aから見る



※取付けを分かりやすくするために、ポストの表記を消した状態の図で説明しています。

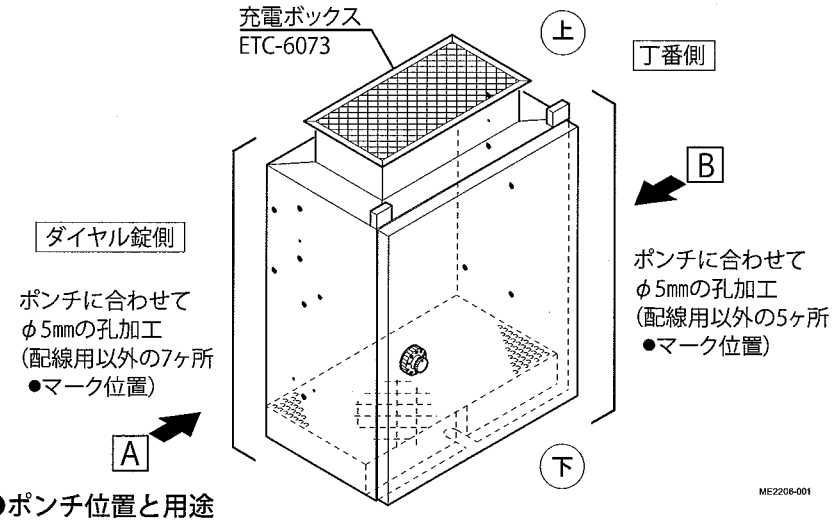


1－5 充電ボックスの取付け

①充電ボックスの側面のポンチ位置にφ5mmの孔をあけてください。

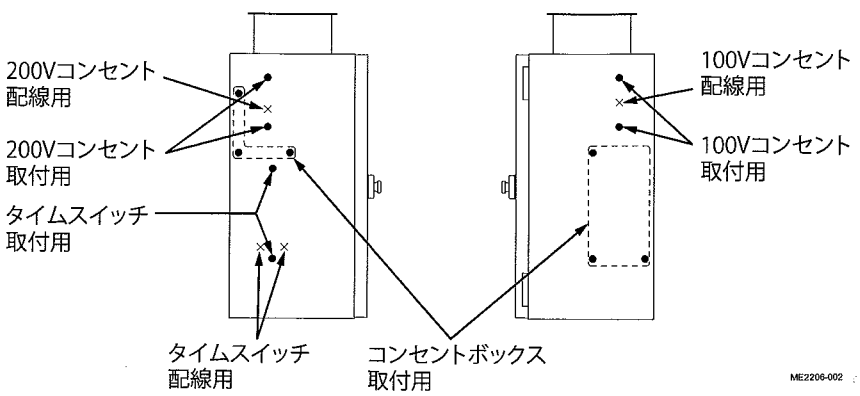
ポンチは16ヶ所あります。
配線用以外の12ヶ所にφ5mmの孔をあけてください。
※電設資材を取付けない所にも孔をあけてください。後工程で孔フサギビスを取付けます。

オプションの門柱を取付ける場合は、この後「シテラ機能ポールカスタムヨコ型・タテ型」施工説明書[ME-2123]にしたがって、下記を行ってください。
・門柱の取付け（※オプション）



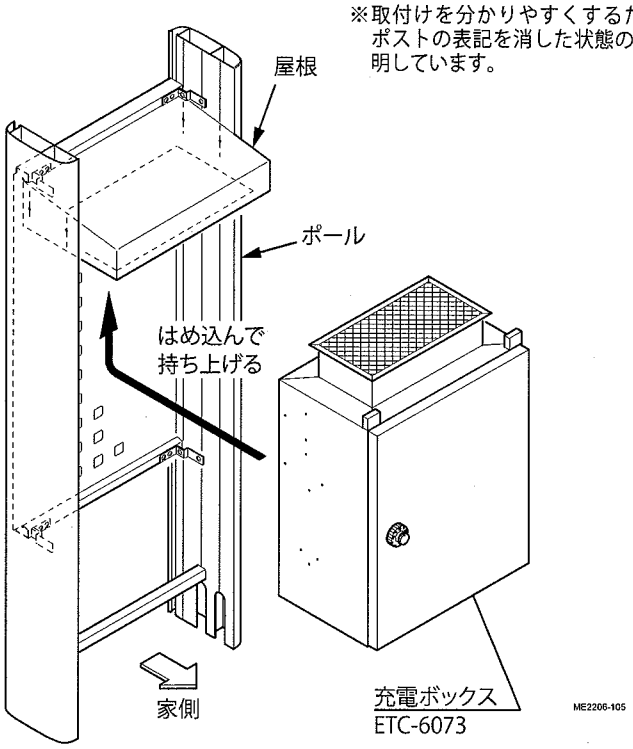
●ポンチ位置と用途

（Aから見る）　（Bから見る）



②充電ボックスをポール内にはめ込んで持ち上げてください。

※取付けを分かりやすくするために、ポストの表記を消した状態の図で説明しています。



③充電ボックスのセッティングブロックを屋根の下端に合わせてください。

セッティングブロックを屋根の下端に隙間なくぴったりあててください。

④充電ボックスの取付孔がポールのノッチに合うよう位置を調整してください。

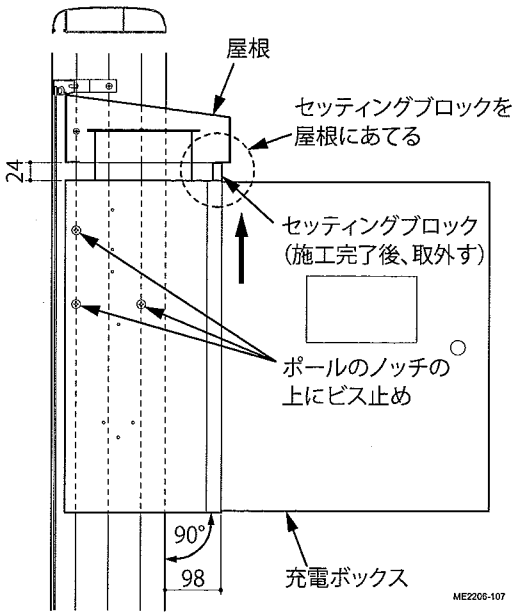
充電ボックスの水平レベルを確実に合わせてください。

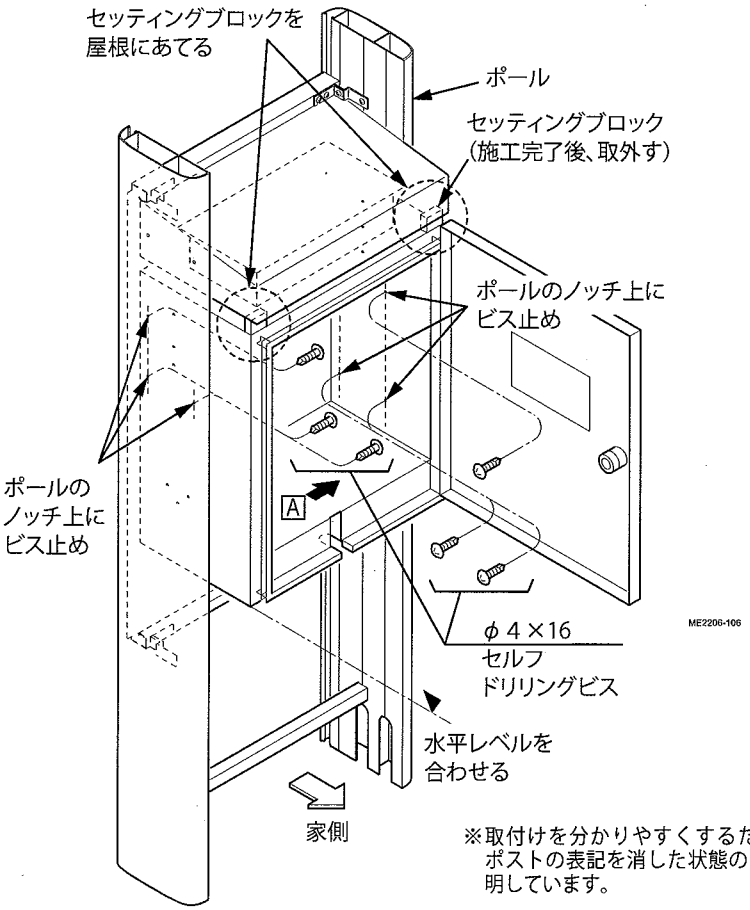
⑤充電ボックスをビスで固定してください。

ポールのノッチ上にセルフドリリングビスで取付けてください。

取付ビスは、充電ボックスに同梱されています。

●Aから見る





※取付けを分かりやすくするために、ポストの表記を消した状態の図で説明しています。

⑥充電ボックスの取付完了後、セッティングブロックを取外してください。

1－6 配線孔の加工

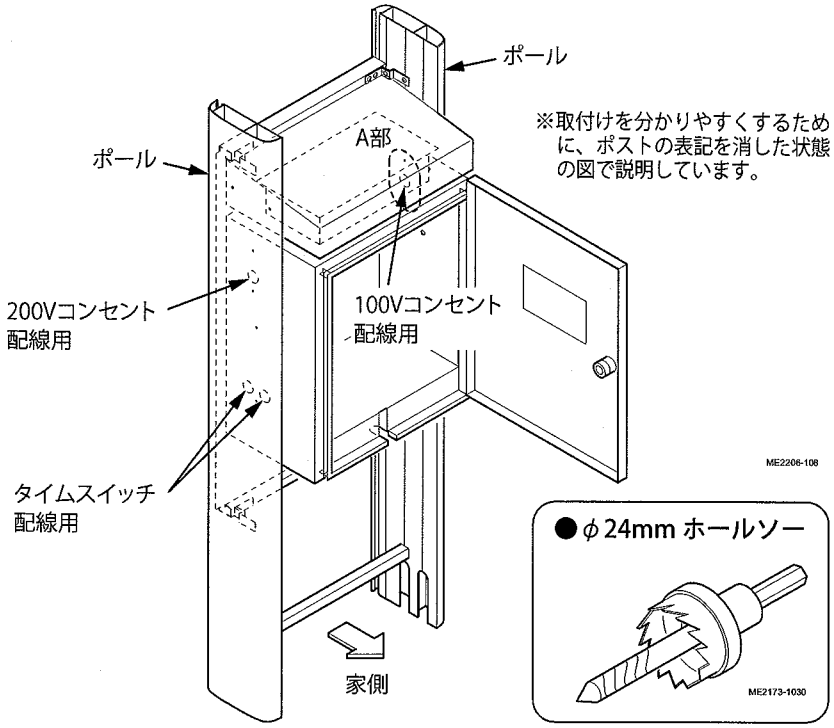
①使用する電設資材に合わせて、配線用にφ 24mm の孔をあけてください。

●ポール内側までφ 24mm の貫通孔をあけてください。
●ポール外側まで孔をあけないように注意してください。

電設資材の種類	孔数
200V コンセント	1 ヶ所
100V コンセント	1 ヶ所
タイムスイッチ	2 ヶ所

孔あけにはφ 24mm ホールソーを使用してください。

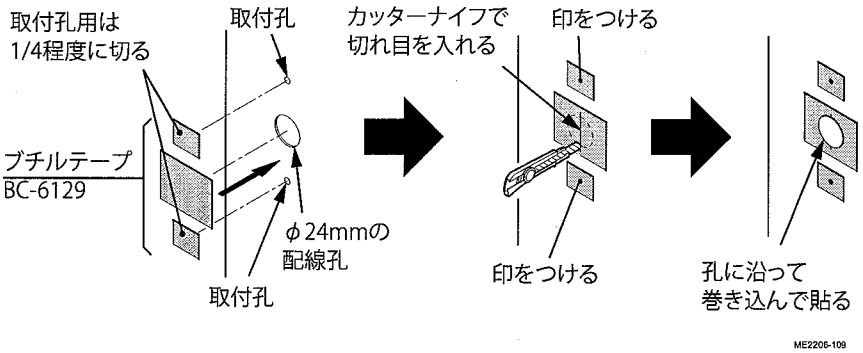
電設資材を取付ける箇所のみ、φ 24mm の孔をあけてください。



②防水処理のため、ブチルテープをφ 24mm の配線用孔および電設資材の取付孔に貼付けてください。

●ブチルテープは充電ボックスに同梱されています。
●電設資材の取付孔には、ブチルテープを 1/4 程度の大きさに切断して貼付けてください。
●電設資材を取付けない孔には、ブチルテープの貼付けは不要です。

●電設資材取付部の防水処理
（ブチルテープ加工：A 部の例）



③φ 24mm の配線用孔は、ブチルテープの中心にカッターで切れ目を入れて、配線孔に沿って巻き込んで貼付けてください。

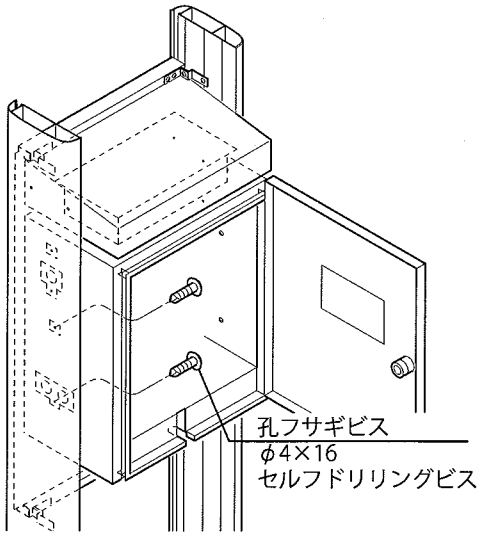
1－7 孔フサギビスの取付け（※電設資材を取付けない場合）

①電設資材を取付けない孔には、孔フサギビスを取付けてください。

取付ビスは、充電ボックスに同梱されています。

●孔フサギビスの取付例
（タイムスイッチを取付けない場合）

※取付けを分かりやすくするために、ポストの表記を消した状態の図で説明しています。



1－8 先行配管・配線の埋設（電気工事）

⚠注意

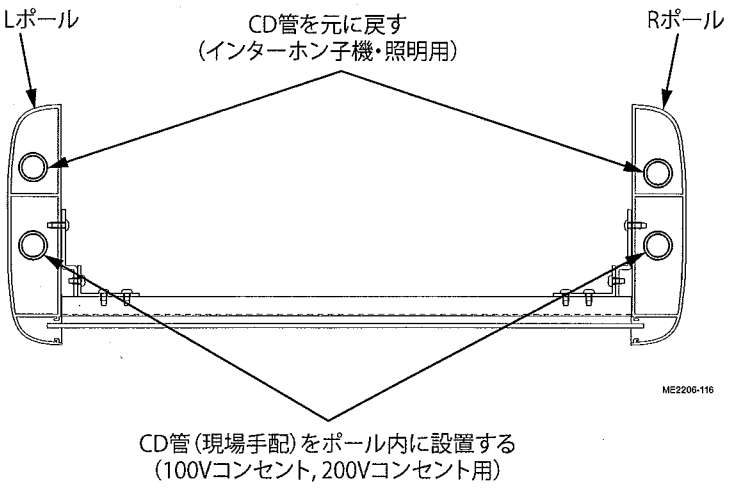
電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

①「1-2. ポールの切り欠き加工」で取外したCD管をポール内に戻してください。

②充電ボックス用に２本のCD管をポール内に設置してください。

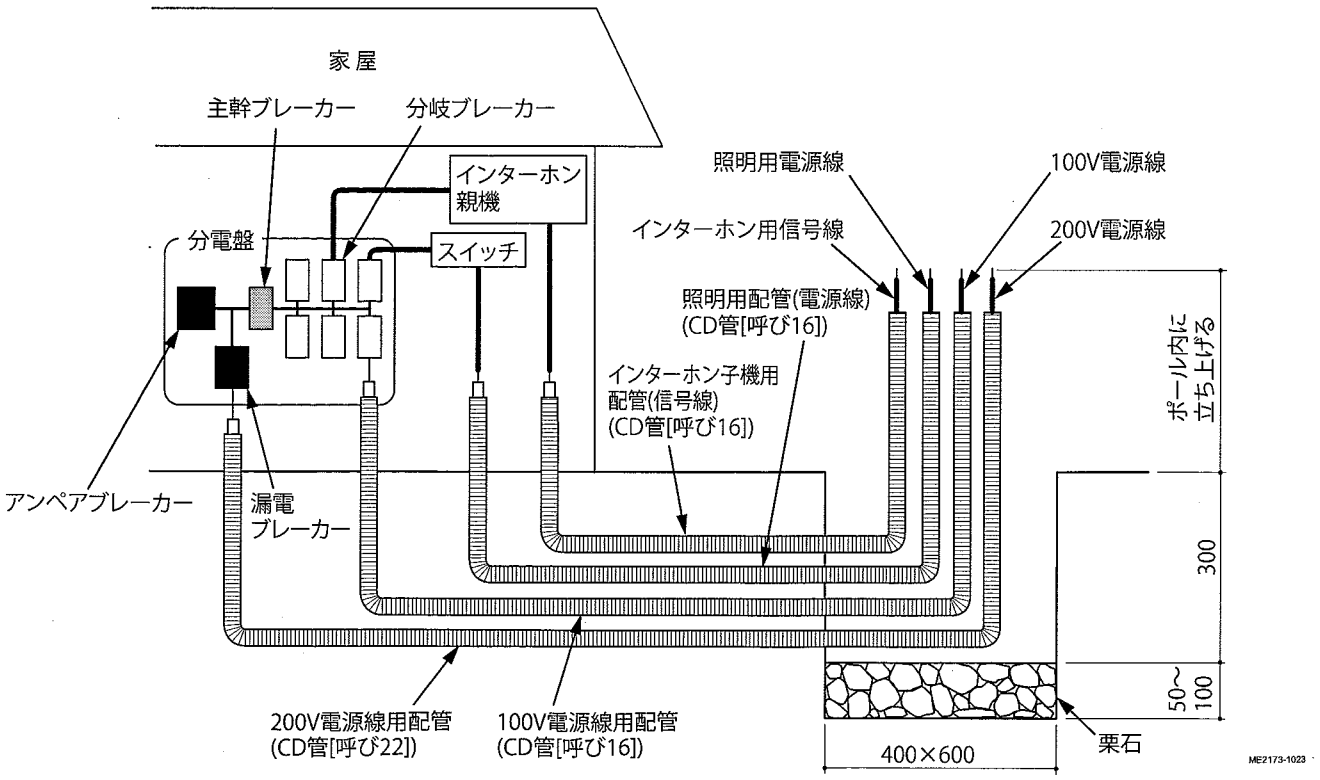
充電ボックス用のCD管（２本）は現場手配してください。
- Lポール：100Vコンセント用
- Rポール：200Vコンセント用

●断面図



③「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123] の「7. ポールの設置」と同時に、充電ボックス用の配管および配線を埋設してください。

CD管と埋設管を接続してください。
- Lポール：100V電源用
- Rポール：200V電源用



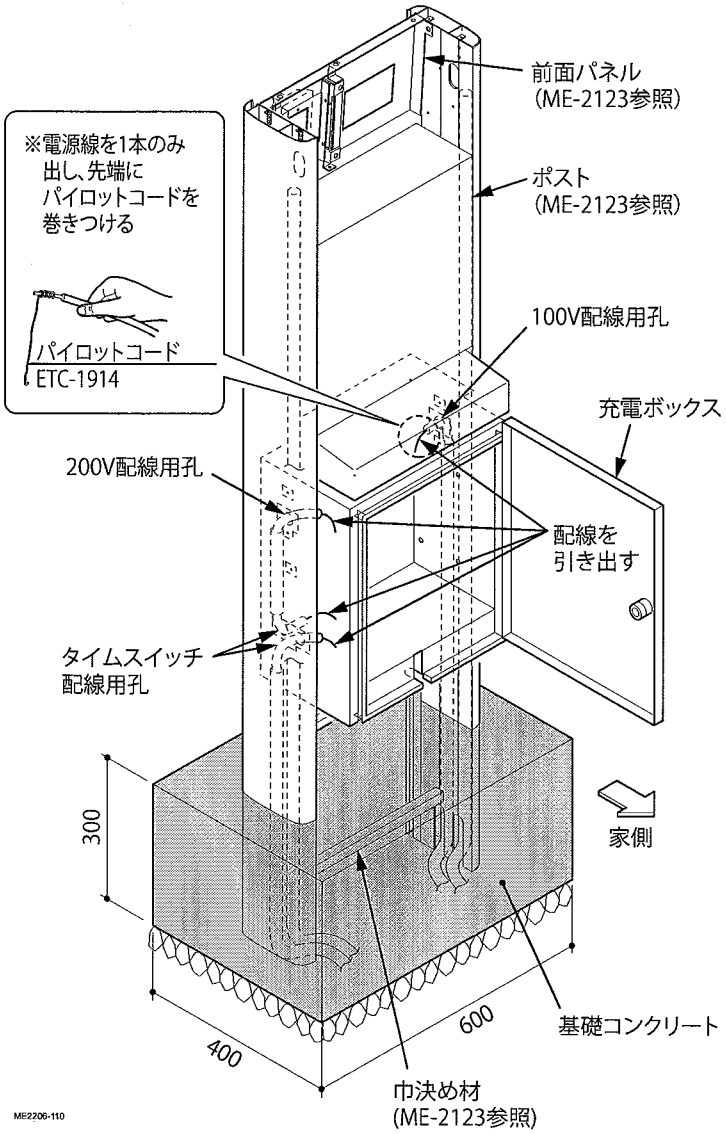
1－9 ポールの設置

①埋め込み深さ・高さ・垂直水平を調整し、コンクリートを流してポールを固定してください。

ポール埋設時には、ポール背面に十分なスペースを確保してください。
※ポール埋設後に、ポール背面より部品類の取付けを行います。

●コンクリートが固まるまで、添え木等で動かないようにしてください。
●ポールや配管内に水が入らないようにしてください。

ポールの設置後は、「シテラ機能ポールカスタムヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123] にしたがって、下記を行ってください。
・インターホン子機の取付け
・照明の取付け
・背面パネルの取付け
・エッジライン・キャップの取付け
※「1-1. 施工手順の確認」を参照



ME2206-110

1－10 充電ボックスの配線（電気工事）

⚠注意

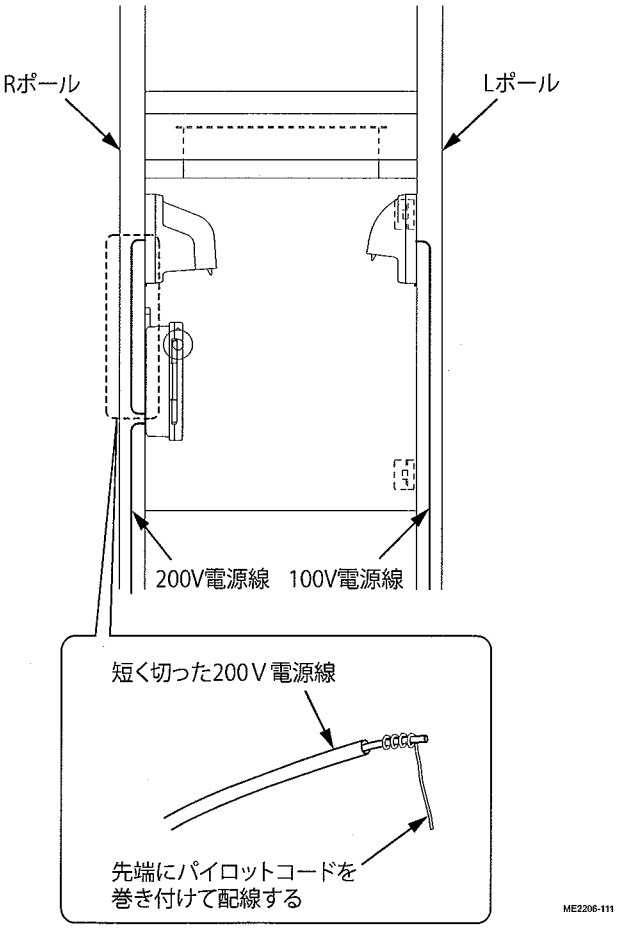
電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

①パイロットコードを使用して、100V コンセント用、200V コンセント用およびタイムスイッチ用の配線をポール外へ引出してください。

左右のポールから下記の配線を引出してください。
・L ポール：100V 電源線
・R ポール：
200V 電源線およびタイムスイッチ用配線

タイムスイッチ用の配線は 200V 用電源線を現場手配してください。

●配線図（家側より見る）



ME2206-111

2 電設資材の取付け（電気工事）

●電設資材に付属の説明書を合わせて参照してください。

⚠注意

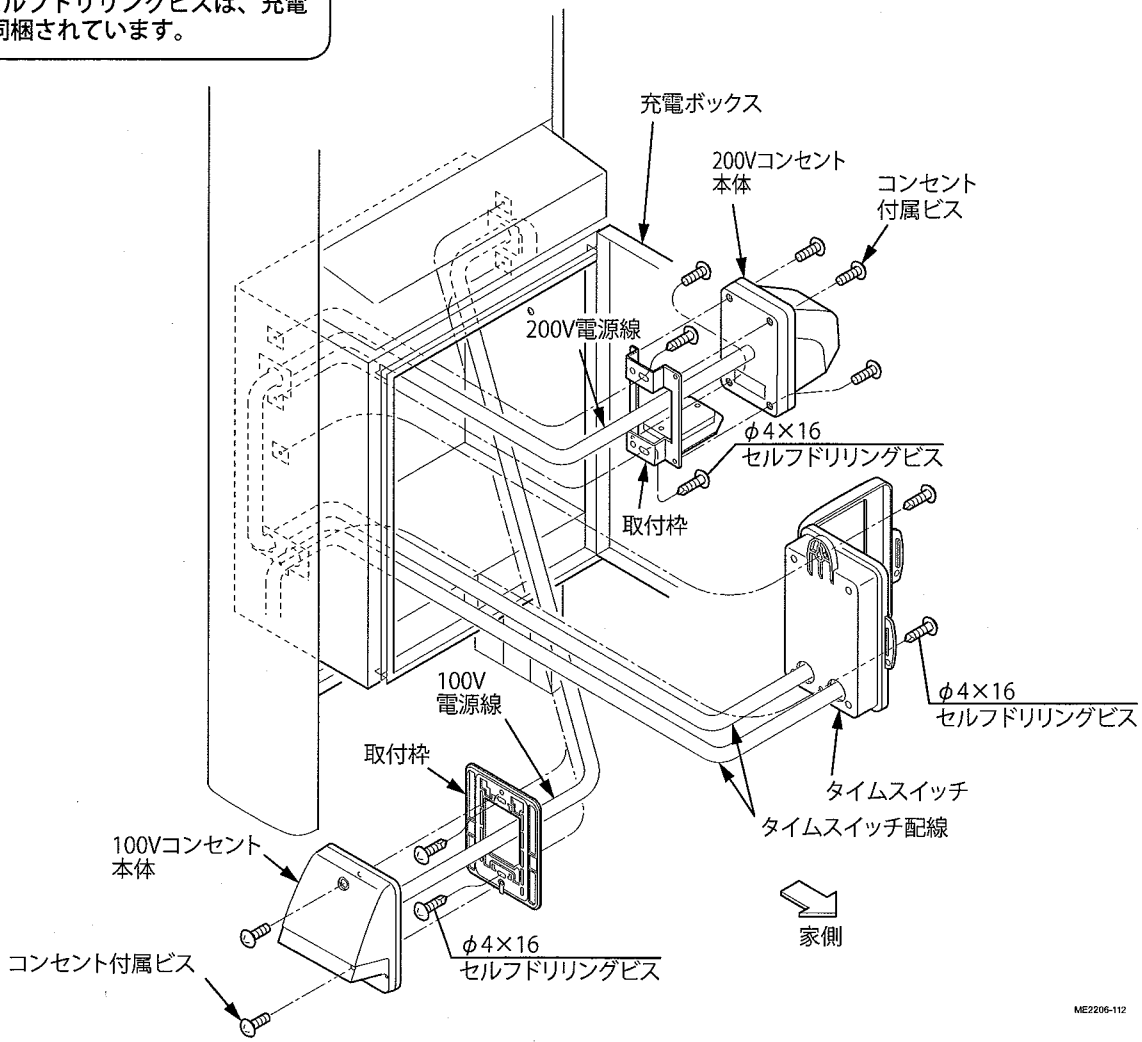
電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

結線および取付けの詳細については、電設資材に付属の説明書を参照してください。

①ポール内より引出した配線と電設資材を結線してください。

②充電ボックスにコンセントおよびタイムスイッチを取付けてください。

φ４×16セルフドリリングビスは、充電ボックスに同梱されています。



3 施工完了後の動作確認

⚠注意

必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

3－1 動作確認

①ブレーカーを ON にし、コンセントに電源プラグを差し込み電流が流れていることを確認してください。

②タイムスイッチに付属の説明書にしたがってタイムスイッチの設定し、正しく動作するか確認してください。

③確認後、ブレーカーを OFF にしてください。

3－2 正しく動作しない場合

①各配線が正しく接続されているかを確認してください。

下記の項目を参照して、配線の接続を確認してください。

「1-8. 先行配管・配線の埋設」 → 11 ページ
「1-10・充電ボックスの配線」 → 12 ページ
「2. 電設資材の取付け」 → 13 ページ

4 ダイヤル錠の使いかた

⚠注意

●ダイヤル錠に足をかける、重いものを掛けるなど、無理な操作をしないでください。
●ダイヤル錠は開閉以外の操作は行わないでください。
※思わぬ事故や破損の原因になります。とくにお子様のいらっしゃるご家庭ではご注意ください。

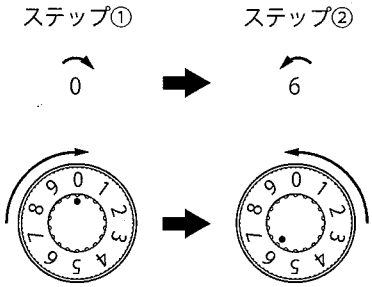
■ダイヤル錠を開錠する

※出荷時は「右に 0」「左に 6」に設定されています。

①ダイヤルを右に 2 回以上回してリセットします。

②ダイヤルを右（時計方向）に回し [0] に合せます。

③ダイヤルを左（反時計方向）に回し [6] に合せると開錠します。



ME2173-1031

■ダイヤル錠を施錠する

①充電ボックスの扉を閉めて、ダイヤルを回すと施錠します。

■開錠番号を変更する

●開錠番号は変更することができます。
●開錠番号の組合わせは開錠番号一覧表をご参照ください。
●開錠番号の組合わせは一覧表の番号以外にはありません。ご了承ください。

①ダイヤル錠を開錠して充電ボックスの扉を開けます。

②付属の鍵調整部品をダイヤル錠の下から差し込み、充電ボックス内側に倒します。
→ダイヤル合せ目印キャップが浮き上がります。

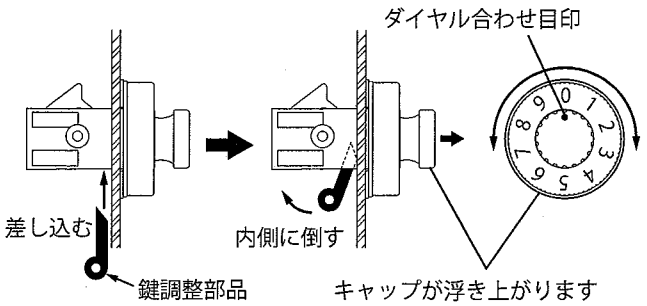
③キャップを浮かせた状態でそのままキャップを回転させ、開錠番号一覧表のステップ②のいずれかの番号に合せます。
（ステップ①の番号に合せる必要はありません。）
→設定が変更されます。

④鍵調整部品を抜き、キャップを元に戻します。

●付属シールに変更後の開錠番号を記入してわかりやすい場所に貼付けておくと便利です。
●開錠番号がご不明の際の責任は負いかねます。ご了承ください。
●鍵調整部品は、無くさないよう大切に保管してください。

●開錠番号一覧表

ステップ①	→	ステップ②
0	→	6
1	→	7
2	→	8
3	→	9
4	→	0
5	→	1
6	→	2
7	→	3
8	→	4
9	→	5



ME2173-1032

■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　）　　-
販売店	TEL（　　）　　-

新日軽株式会社

この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。

お客様相談室　0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ　http://www.shinnikkei.co.jp